

誌上行学講習会

高佐日煌上人

何やらおは家目つかれさんま教す。の以来のれいい務寸分の知
 がにな探振にがてるるいたし強。次所外るでにへや所釘で体法地
 しもいしれ入狂つねん。んた盜こい産にもし手い本をの名験心獄
 かのの下まりつかーだ犬と。とれてとはのたをの当終寅人にと心
 のをさせ込たまと。をこ強いに地いなで。かとにえ吉によいの
 金言はいんんのらいこ飼ろ盜うは獄ういはこけこす改▽なう縁
 をわ元。だからなつれはに異お心べわあうるろば心とるて学覚
 見せも。こ。、いたかて無入名ものきけりいとをらしいこ悪問心
 つて子強れ妻あ。調らお用つをし菩もでまうス五したうと事的
 け家も盜こ君まと子こか心て取ろ薩のあせのっ寸い寅明でのでこ
 てさなのがりこ。れんでいつい心でりんはと釘特吉治あコあれ
 帰がい方通一裕ろこにかいてた話。あま。い上一技が時りツるは悪
 ろし。もり人福がれこらけ説、しこりす一くつ本でそ代まをに悟対行
 うを一せで「で弘がりわな教松がれま。心らてをおののす悟対行
 とす生つす何な法なてしいす木あはす自に考しボど業悪。るし覚
 しる懸か。といもか犬の。る妻る悪。分修えまんろを党私立、法
 た。命くどい職筆くをよ犬とい吉。中
 そ、入こわ工の警飼うをうをいと昭他
 し長つでれさあ察いなかうい和念
 て年てもてんやのな強んうの心
 遂の一ごもかま眼さ盜てでの初で
 にキ錢自無何りをいにおすが期あ
 五ヤも由いかでく。入り「おにり
 円り取に袖の、ぐわらなあり説ま

れないは下で断に輝す議然る悪。る手と円願で人だでく
 ばり美こにあをつ以き。こなし、の地で方いだしすはけすれする
 なまくれ落りすい上が最の事決地世獄あのうけた。今でがまる
 らせしもちまるてあま悪徴実し底界心り心のは。ど日も、しと
 なんいあなすと考またのかでてにに中まをで置すう会置おた
 い。清まい。そえりた地な、消さはのし、おあいるか社い願
 の下いりと又うた好く獄徴どえし徴仏。よもりてとおのてい実が
 で化善感いそなわまいとのかんる込良院。いまここ願宿行では「
 あ衆な心ううるけしう底ななこむ心心
 あり生る出こかぞでか、心も心悪なりな悪
 ます。共をまだ言いりぬ在の光人存よ。徴
 に求せけつうま暗り、一り間在う徴々
 常めんでて教すい方。にる。満普訓が世で番がですなか良
 上こよ足通を、界あ美あもるわに心
 求とりしのし結のりくる、。ずして
 苦を一て人て局心ましのどこかてあ
 提忘そい間いはのすいでこれなかり
 でれうた心る心在。仏あかは良すま
 なて正のでわにり。陀りに不心かす
 けはして、け油方。のま必思がな。